

取り付け上の注意事項

- 取付作業は、安全で平坦な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作してください。
- 取付作業中の車はエンジンを停止し、エンジンキーを取りはずしてください。
※プッシュスタートシステム付車については、リモコンを電波の届かない車外で保管してください。
- 構成部品及び部品点数が取付要領書通りになっているか、または不良品の混在等はないか確認してください。
- 貼り付け部の汚れや油分をイソプロピルアルコール(IPA)等で拭き取ってください。
- 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤やパーツクリーナー、ブレーキクリーナー、燃料用ホワイトガソリンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

取り付け完了後の点検・注意事項

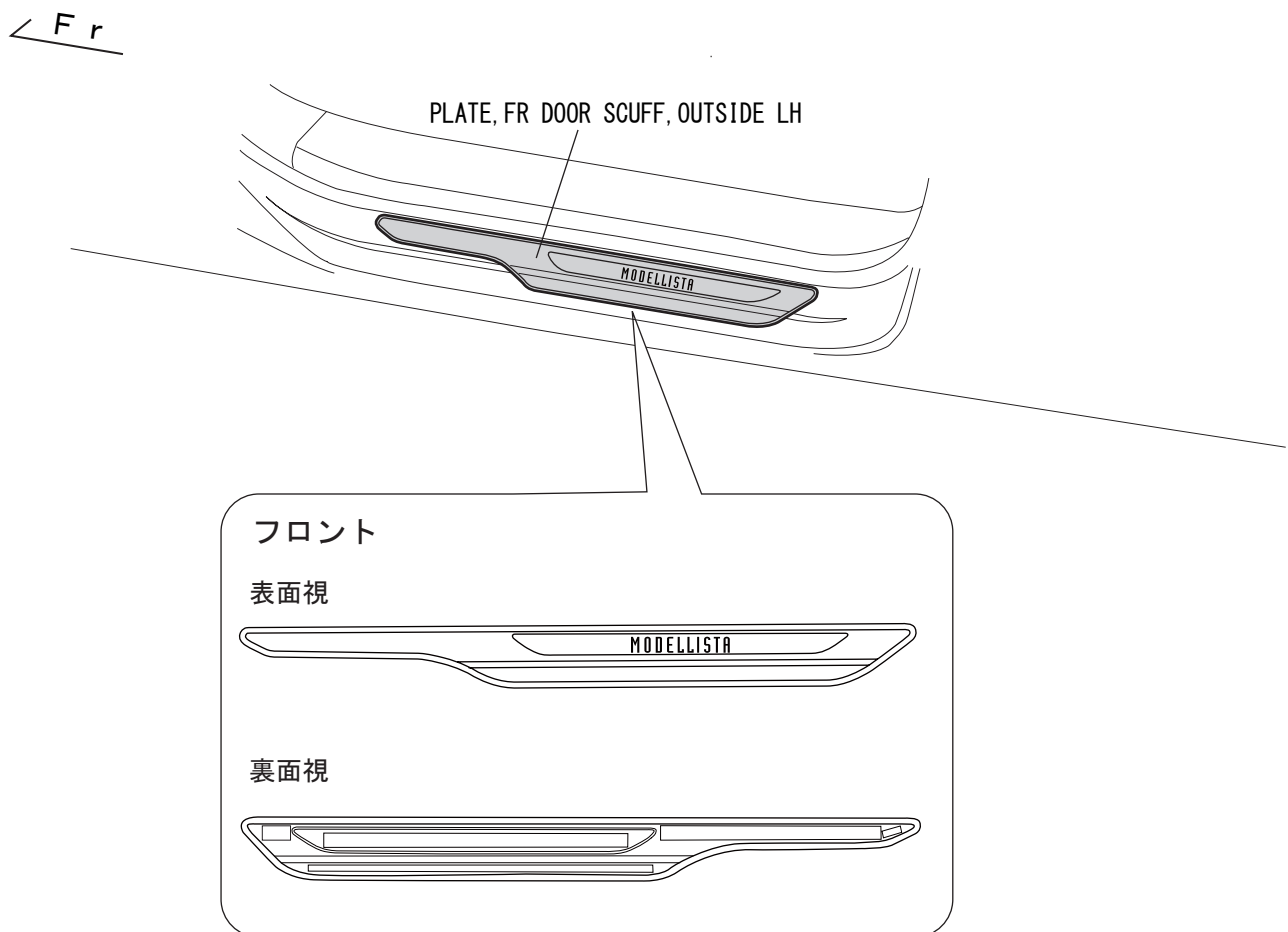
- 両面テープ全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか確認下さい。
- 取り付け完了後、スカッフプレート及び車両部品に傷がついていないか確認して下さい。
- 取り付け完了後、24時間程度は強い力をかけたり、雨等で濡れないよう注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、ボディとスカッフプレートの間に隙間が発生するおそれがあります。)

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

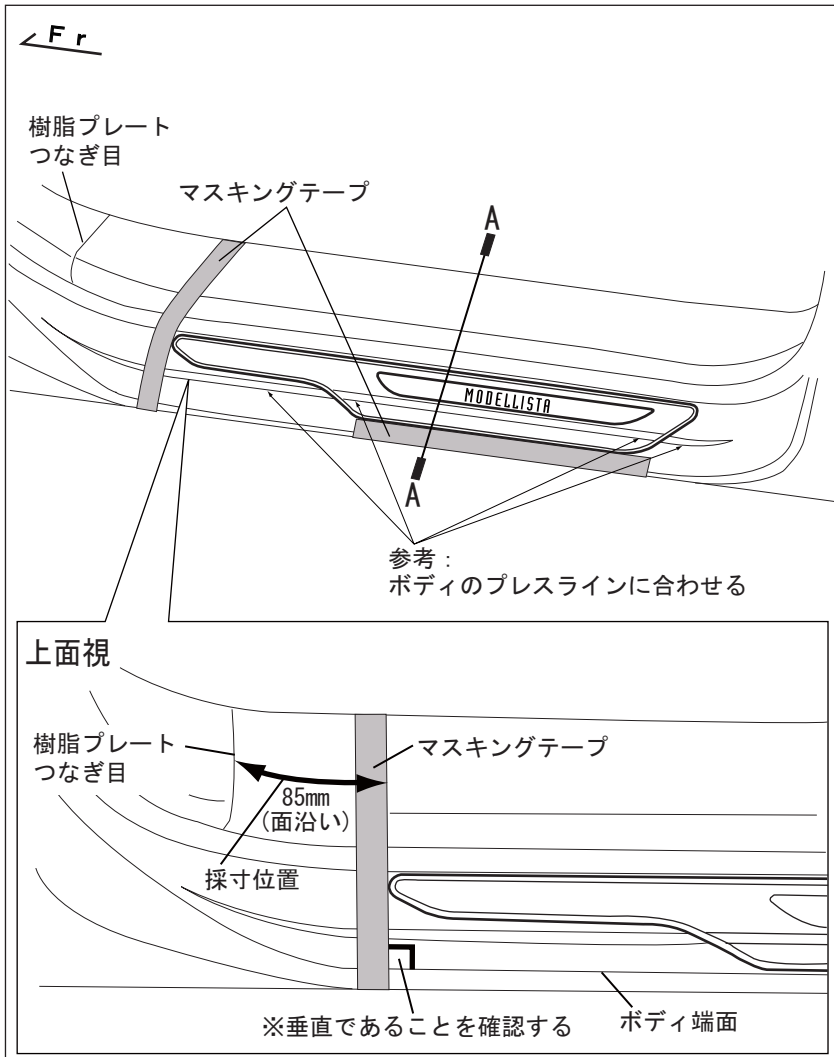
- ⚠ 注意 …注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあります。
- 👉 アドバイス …スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

取り付け概要

※この取り付け概要図は車両左側を示しています。



取り付け要領



※本図はLH側を記載しておりますがRH側も同様に取り付けてください。

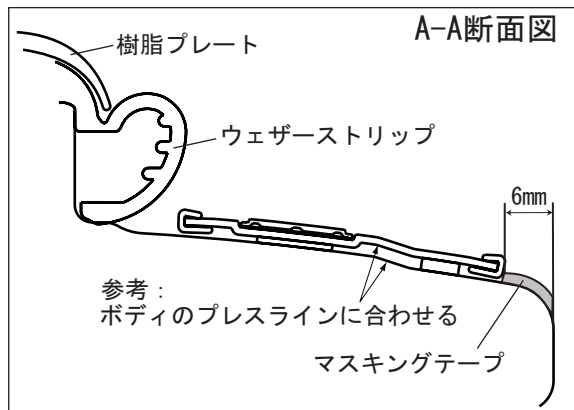
1. フロント位置決め

- (1) 左図の採寸位置にて採寸し、樹脂プレートのつながり目から85mm(面沿い)の位置にマスキングテープで印を付ける。

⚠ 注意

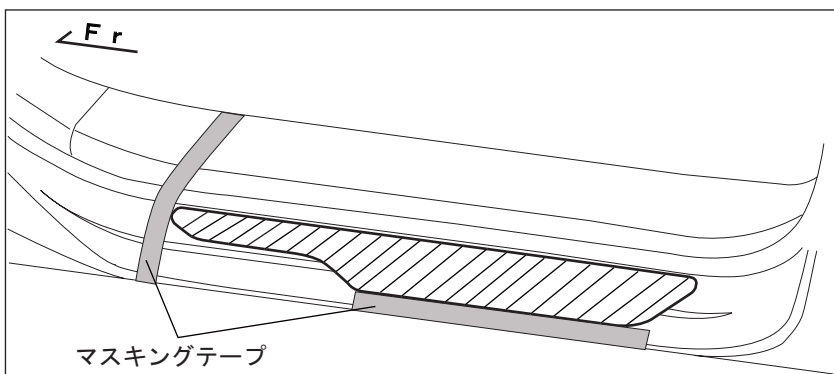
マスキングテープは上面視でボディ端面と垂直になるように貼ってください。マスキングテープが湾曲した状態でスカッフプレートを合わせてしまうと正規の位置で取り付けず剥がれの原因となる可能性があります。

- (2) 下記A-A断面図を参考にして、車両端面から6mmの位置にマスキングテープで印を付ける。
- (3) 製品をマスキングテープに合わせて仮合わせし、ボディプレスラインと合っていることを確認する。



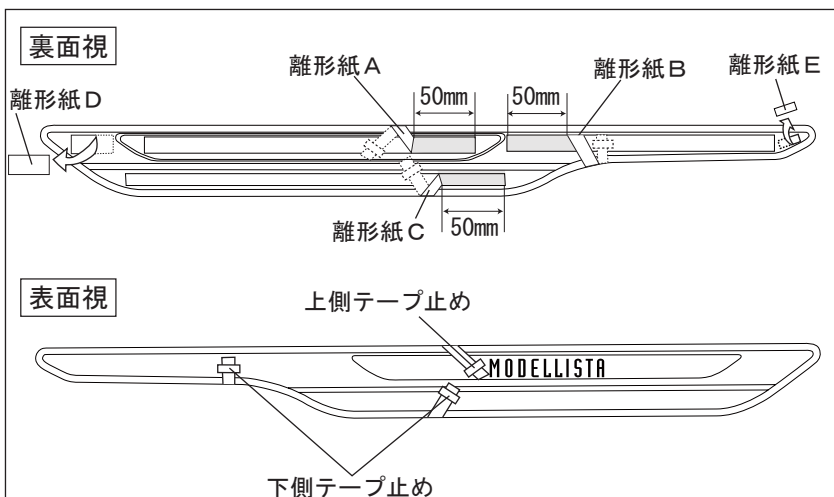
2. フロント脱脂

- (1) スカッフプレート貼付部(斜線部)をイソプロピルアルコール(IPA)等を使用しウエスできれいに拭き取る。



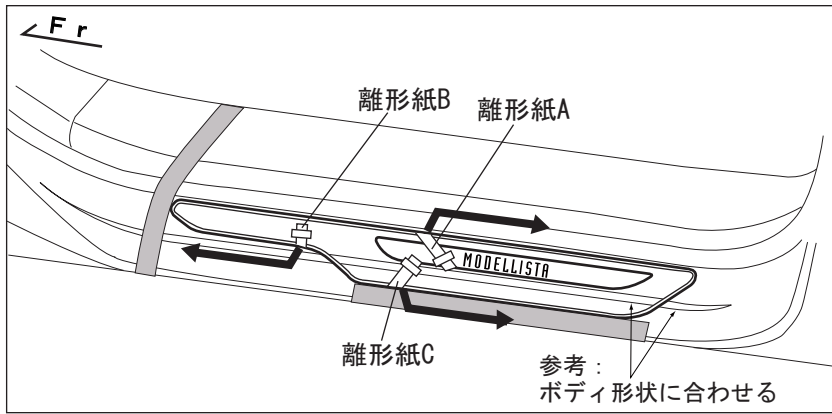
3. フロント離形紙剥がし

- (1) 両面テープの離形紙(A・B・C)の末端を約50mm程度めくり、製品の表側にマスキングテープ止めしておく。
- (2) 両面テープの離形紙(D・E)をすべて剥がす。



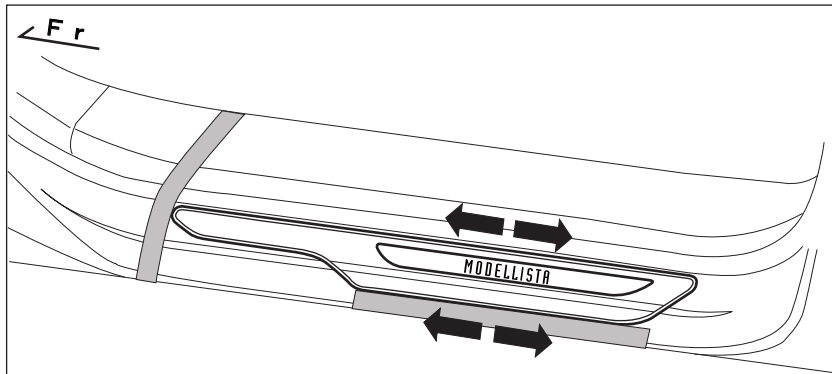
👉 アドバイス

1. スカッフプレート傷付き防止の為、保護シートの上で作業をしてください。
2. 離形紙を剥がした後の状態を左図を参考に確認してください。間違えると接着ができず正しく取り付けられない可能性があります。



4. フロント貼付

- (1) スカッフプレートを貼付位置に合わせて貼り付ける。
- (2) 離形紙をA→B→Cの順で抜き取る。



5. フロント圧着

- (1) スカッフプレートの上にウエスを重ねスカッフプレート中央から矢印の方向に沿って、均一な力を加え49N〔5kgf〕以上の力で圧着する。
- (2) マスキングテープを剥がす。



アドバイス

1. 車が揺れる程度に強く圧着してください。圧着が不足していると、剥がれや浮きが発生する可能性があります。
2. スカッフプレートが変形しないよう両面テープ取付位置を確認し圧着してください。

取り付け完了後の確認

スカッフプレートが正確な位置に固定され、剥がれや浮きが無い事を確認してください。
ドア開閉を行い、干渉等が無い事を確認してください。

株式会社トヨタカスタマイジング & ディベロップメント
<https://www.modellista.co.jp>

【お問い合わせ先】

モデリスタコールセンター TEL : 050-3161-1000